

支出の優先順位考える

ライフイベントにかかる費用の目安



※1…子ども1人当たりの総額
 ※2…高齢夫婦無職世帯の支出

(日本FP協会ホームページを基に作成)

賃金は上昇し、低金利はしばらく続きそうですが、資材価格の高騰や人手不足で住宅を購入するには厳しい環境が続いています。年収の何倍もの高額な住宅は、ローンを組んで購入することが多い買い物です。だからこそ、まず無理のないライフプランをよく考えることが大切です。

目指せ！
お金の達人


②9 賢く住宅を購入するには

Q 無理のないライフプランとは？

A 人生100年を充実させ豊かに生きたいと思えば、就労による収入がある20〜60代にどれだけ稼いでそれを何に使っていくかを考えることが大切です。やりたいことを全てやるにはお金が足りないこともあるので、お金を使う優先順位を考えましょう。

Q 住宅がほしい時は何から考えればいい？

A 住宅をほしいと思ったのは何のためでしょうか。家族が子どもたちを育てるためや、リタイア後の生活をするためなど、それぞれあると思います。人生のどの時点でのようにお金を工面してこの大きな買い物をするのが問題です。第一に自分の稼げるお金から無理なく払える範囲で購入することを考えましょ

生活費のほかに住宅、教育、老後と、生きていくにはそれぞれ大きなお金が必要となります。優先順位を考えた際、新築住宅が難しいのなら、中古住宅を検討してみてもよいでしょう。通勤通学のためなどであれば、賃貸住宅に住む選択もあり得ます。

特定の土地で生活しなければならぬ場合は別として、部屋数の多い家が必要なのは子どもが成長する間だけで、子どもが独立した後は必要ないかもしれません。そうであれば、その時々で売却したり賃貸したりすることが可能な家を当初から考えて購入することも必要になってくるでしょう。

Q そのほかに理解しておく必要があることは？

A 家は適切に管理すれば100年でも住めますがそのためには、購入した以上のお金が必要となる場合もあります。さらに実家を相続したものの住まないケースもあります。家や土地は所有すると、固定資産税や維持管理費がずっとかかるということを理解して購入を検討しましょう。(ファイナンシャルプランナー)

次回は2月10日に掲載します。

富山県金融広報委員会
 金融広報アドバイザー
横山 純子